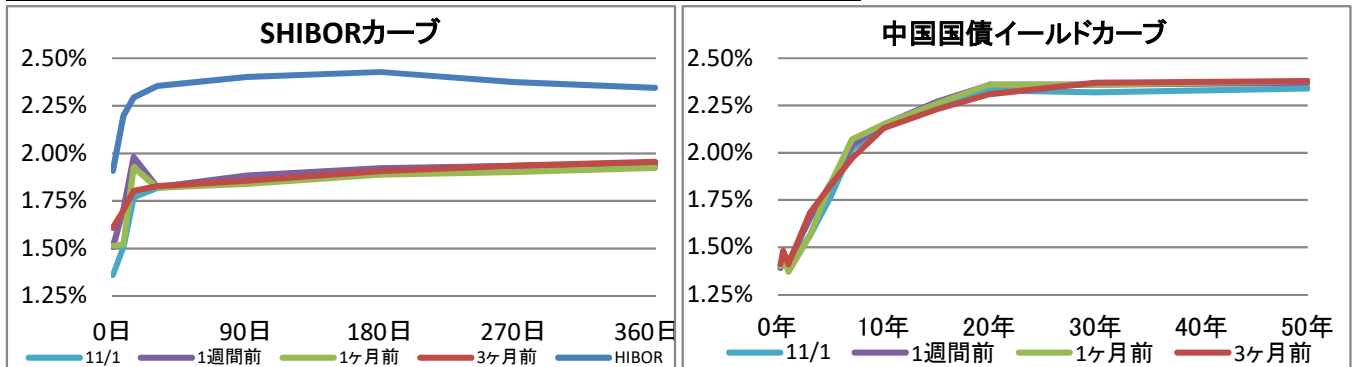


1. 市場概況

基準レート		2024/11/1	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1135	+0.0045
	JPY/CNY	4.6800	-0.0044
SHIBOR	3M	1.8790%	-0.0040%
国債利回り	10年	2.14%	-0.01%
上海総合指数		3,272.01	-27.69



(1) 概況

国際金融市場では、米国での接戦の大統領選挙を翌週に控える中、堅調な景気を示す指標が続いて債券市場の下落（利回り上昇）が続き、株式市場は高値近辺で、外為市場でもドル高水準で、小幅なレンジ内での取引となった。

中国金融市場でも、翌週に全国人民代表大会常務委員会を控え、週初の子育て支援策に続き、財政政策による景気支援の期待が高まったものの、株価支援策により既に高値にある株式市場の上値は重く、米中関係や景気の先行き不透明感と増発懸念から債券市場の値動きも限定的となり、外為市場では月末のドル需要一巡後は元が買い戻される展開となった。

中国では、習主席が、地方政府幹部向けの重要講話で、本年の経済成長目標達成に向けた努力や外資のビジネス環境整備に言及し、雇用促進に関する重要文章を公表し、雇用拡大と質向上の必要性を指摘し、李強総理は、経済情勢に関する国務院常務会議で追加政策パッケージの着実な実施、評価、最適化の必要性を強調。王毅外交部長は、国連総会議長との会談で、国連による多国間主義維持と一国主義反対への期待を示し、商務部は、米国による制裁リストへの中国企業の追加や中国へのAI投資制限決定、EUによる中国製EVへの追加関税正式承認に反発。中国人民銀行は、公開市場アウトライト・リバースレポオペ開始を発表し、日銀との間で為替スワップ取極を延長し、宣副行長はG20財務相・中銀総裁会議で、追加の金融緩和措置や金融安定状況等を紹介し、米国財務省等と金融WG会議を開催し、国家外貨管理局は、一部地域試行のクロスボーダー投融資関連業務の簡素化措置を他都市にも拡大。証監会等は「外国投資家による上場企業への戦略的投資管理法」を公表し、外国投資家の投資要件等を緩和し、投資管理・リスク防止体制を強化。大手商業銀行は、既存の個人住宅ローン金利の新たな調整制度を開始。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日22,515億元に対して、リバースオペ14,001億元を実施し、ネットで8,514億元を吸収。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI（10月） は、製造業が50.1%（9月、49.8%）と、6ヵ月振りに分岐点を上回る改善。新規受注と生産が50を上回る一方、輸出受注や雇用の低迷が続く。非製造業も、50.2%（9月、50.0%）と前月を上回ったが、不動産市場低迷等から建築業が低下し、新規受注や雇用の低迷が続いている。総合も、50.8%（9月、50.4%）と2ヵ月連続の改善。
- ・ 財新製造業PMI（10月） は、50.3（9月、49.3）と、受注と生産が回復しているものの、外需は低迷し、雇用は急減する等、区々の内容となっている。

2. 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3600%	1.3800%	1.3000%	
1W	1.5070%	1.7900%	1.5000%	1.6500%
2W	1.7680%	1.8500%	1.8000%	1.6500%
1M	1.8180%	1.9000%	1.7500%	1.7500%
3M	1.8790%	2.0000%	1.9800%	1.9000%
6M	1.9170%			1.9000%
9M	1.9330%			1.9000%
12M	1.9430%	2.1430%		1.9000%

中国人民銀行は、月末を前に大幅に資金を吸収する調節に転じていたものの、新たに導入されたアウトライトリバースレポオペによる資金供給が伝えられる等、金融システム内の資金に不足なく、無難に月末を乗り切っている。ターム物の金利水準にも変化なく、1カ月が1.9%前後で取引されているが、出合いは限定的。

NCD市場も、年末を意識する時期であることから、一連の金融緩和の効果は概ね短期に限定されているものの、ターム物の金利水準は、年内が1.7%台に、3カ月以降は1.9%前後に、小幅ながらいずれも低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.85%	4.86%
1W	4.90%	4.92%
1M	4.90%	5.03%
3M	5.00%	5.05%
6M	4.80%	4.90%
12M	4.70%	4.70%

中国国内市場では、堅調な米経済指標が続いたものの、FRBが利下げを継続するとの見通しに変化はなく、年末越えとなるターム物の出し手は限定的ながら、ターム物は1カ月から3カ月までが5.0%前後で取引されている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.40%		1.87%	1.94%	2.25%
6M	1.41%		1.90%	1.99%	2.27%
1Y	1.41%	1.57%	1.90%	2.04%	2.34%
3Y	1.56%	1.83%	2.11%	2.24%	2.58%
5Y	1.77%	1.99%	2.24%	2.37%	2.84%
10Y	2.14%	2.29%	2.38%	2.57%	3.19%

米国債券市場は、堅調な景気情勢に変化の兆しが見られ始め、FRBが金融緩和に転じる中での大接戦の大統領選挙を翌週に控え、両候補の公約から財政悪化不可避との見込みを織り込む格好で利回りが上昇を続ける展開。中国債券市場でも、財政支援期待によるセンチメント改善を通じて景気が底打ちするとの期待や増発懸念が意識されているものの、米大統領選見通しや中国人民銀行が週初に発表していたアウトライトリバースレポオペを実施していたことが伝わるなど、債券利回りが上昇を続ける状況とはならず、底堅い（利回りが上昇し難い）展開が続いた。この結果、10年米国国債利回りは4.38%（前週末比+14bp）に上昇する一方、10年中国国債利回りは2.14%（同-1bp）に低下し、利回り差は224bp（同+15bp）へと一段と拡大。

中国債券のイールドカーブは、リスク回避傾向が強まり、短期の信用債と中期の利率債に買いが集まった結果、利付債ではブルフラットニング、信用債ではスティーピングする調整相場となっている。クレジットスプレッドは利率債の低下による拡大が続き、特に中期債でやや大幅に拡大している。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-166.0 / -165.5
3M	-523.0 / -522.0
6M	-1,072.0 / -1,070.0
9M	-1,610.0 / -1,608.0
12M	-2,155.0 / -2,152.0

対ドル基準レートは7.1135と前週末比+45pipsのドル高元安、対円基準レートは4.6800と-44pipsの円安元高と、概ね市場実勢水準での設定が続いている。中国国内市場では、米長期金利の上昇が続き、米大統領選挙見通しや月末需要からドルは底堅く推移し、一時7.14台半ばまで上昇していたものの、全人代常務委員会における景気支援策への期待からドルの上値は重く（元の下値は堅く）、7.11台まで下落後に7.12台半ばに戻して週末を迎えている。

先物は、米金融緩和ペースが緩やかなものになるとの思惑に変化なく、元金利水準は小幅ながら低下しており、米中金利差が拡大するとの期待や投資資金流入減少傾向にも変化は見られないものの、先行き不透明感から小幅な値動きとなり、1年物は-2100台での取引に終始した。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.83%		1.60%
6M	1.74%	1.81%	1.60%
9M	1.69%	1.75%	1.60%
1Y	1.67%	1.71%	1.60%
3Y	1.66%	1.70%	1.60%
5Y	1.77%	1.83%	
7Y	1.87%	1.93%	
10Y	1.98%	2.03%	

金利スワップ市場は、利率債利回りと短期の基準金利がともに低下に転じたことから、スワップ金利の水準も小幅ながら低下に転じ、スワップスプレッドも若干ながら縮小に転じた。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。